

株式会社 木村食品工業

きむらしょくひんこうぎょう



企業プロフィール

所在地 青森県平川市

創立 昭和51年(1976年)

業種 農産物加工食品製造

従業員数 389人 (R4.1.1現在)

定年・継続雇用

定年年齢 65歳 (R5.1.1現在は定年70歳)

定年後の継続雇用 就業規則により一定条件の下年齢の上限なく再雇用

現在の最高年齢者 72歳 職務内容: 野菜・山菜と果物のカット作業

年齢別従業員数

- 正規従業員 321人
- 非正規従業員 68人

60~64歳 60人 (15.4%)

65~69歳 50人 (12.9%)

70歳~ 18人 (4.6%)

👉 事例のポイント

1

制度の整備

- 定年後は、体力や個別事情等を考慮し、短時間勤務を選択可能

2

モチベーションの向上

- スキルの高い高齢従業員を「技術アドバイザー」任命してモチベーションを維持!
- 若手の相談役としても活躍

3

作業環境の改善・安全衛生

- 夏場の高温対策、防滑床材の導入などの作業改善
- 産業医に相談しやすい体制づくり



課題

改善内容・効果

1

活用方針・活用戦略
仕事内容・就労条件
制度の整備

・定年65歳としていたが、体力的に元気に働けるため、定年後も引き続き働くことを希望する声が多かった。

- ・定年後は一定条件のもと年齢の上限なく再雇用する制度を導入した。
- ・就業時間は、再雇用者の体力や個別事情等の意見も踏まえて3パターンからの選択制とした（①週4日8:00～17:00、②週5日9:00～16:00、③週20時間以内）

2

活用方針・活用戦略
仕事内容・就労条件
モチベーション

・定年後も働く意欲がある従業員のモチベーションが低下しないように、長年培った能力を発揮して、無理なく働き続けられる環境を作る必要性があった。

- ・どの作業ラインに入っても対応できる高いスキルを持つ再雇用者を「技術アドバイザー」に任命し、また、「工場長付」として、忙しいラインへ配置したことで大きな戦力となっている。
- ・若い役職者の良き相談相手として、精神的柱となっており、再雇用者も頼られているという意識から働くことに対するモチベーションがアップしている。

3

仕事内容・就労条件
作業環境の改善

・冬場はスチーム暖房などがあり、作業しやすい環境であるが、最近気温が高い夏場において、作業場にエアコンを導入する必要性があった。
・足腰の弱い高齢者にとって和式トイレは負担となっていた。
・休憩できるスペースがなかった。

- ・特に高温になりやすい機械が置いてある場所や空気が流れが通りにくいところを優先的に、スポットクーラーを導入した。
- ・トイレは和式から洋式に変更した。
- ・調子が悪くなったり、靴を脱いで休憩したい時に横になれる休憩スペースを設置した。
- ・作業場に滑らない床材を導入した。
- ・産業医は、会社の近隣の労働安全コンサルタントの資格を持った方に就任してもらい、現場パトロールを充実させ、産業医に相談しやすい体制とした。



「高齢社員の戦力化に向けて、専門家に相談したい・・・！」

65歳超雇用推進プランナー・高齢者雇用アドバイザーにご相談ください！

全国に配置されている社会保険労務士・中小企業診断士等の資格をもった専門家が企業に対し、相談・助言・提案などを行っています。詳しくはコチラ

https://www.jeed.go.jp/elderly/employer/advisory_services.html